

米相互関税を受けたベトナム株の急落について 政府はいち早く米相互関税の引き下げに向けた交渉に取り組む

2025年4月7日

想定以上の高い関税率から急落も、交渉を巡る期待等が下支えとなろう

ベトナムに対する米相互関税が46%と想定以上に高かったことを受けて、ベトナム株は急落しました。3日のVN指数は前日比▲6.68%の大幅安で過去最大の下落率を記録。翌4日のVN指数も▲1.56%と続落しました。高い相互関税が課されることで、ベトナムの輸出金額の約3割を占める米国向けの輸出が縮小し、経済が減速するとの懸念が広がったことなどが株価急落の要因と見られます。今後は、①米政府との交渉の進展、②成長目標の達成に向けた政府のコミットメント、などが注目点となる見込みです。

①米政府との交渉の進展について、ベトナム政府は交渉を通じて相互関税の引き下げを求めていく方針で、世界各国の中でもいち早く米政府との交渉に取り組んでいます。4日にはラム書記長がトランプ米大統領と電話会談を行い、対米関税を0%に引き下げのための協議の準備ができている旨を表明したほか、5日には関税発動を少なくとも45日延期するよう書簡で要請しました。トランプ米大統領は電話会談を「とても生産的」だったと評価しており、交渉は順調な出だしを切ったと見られます。

②成長目標の達成に向けた政府のコミットメントについて、ベトナム政府は高い成長目標（2025年実質GDP成長率：前年比+8%以上）を掲げていますが、米相互関税の発表後にチン首相は同目標を維持する旨を表明しました。2月には25年度公共投資予算の引き上げ（前年比+33%、GDPの約8%に相当）や付加価値税の減税措置の延長が決定されましたが、追加の景気刺激策への期待も小さくありません。

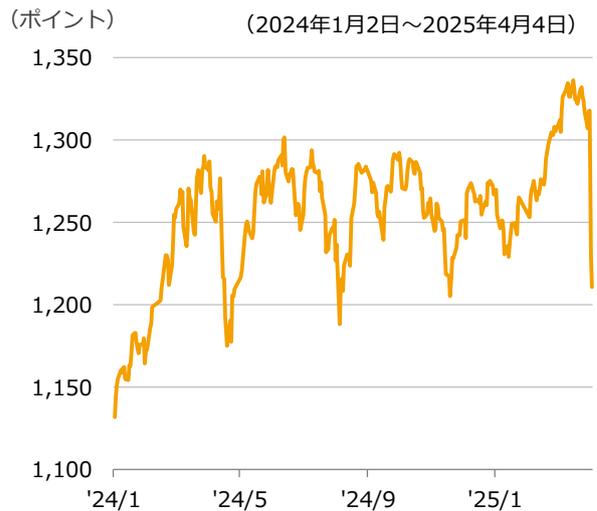
当面は株式市場の不安定な動きが続く可能性はありますが、関税交渉や追加の景気刺激策への期待が株式市場を下支えすると見込みます。

ベトナム政府の直近の通商政策動向

時期	内容
3月中旬	商工相が訪米し米通商代表部と会談
3月下旬	農業相が米国産果物の輸入拡大を表明
3月下旬	米スペースXが衛星通信サービスをベトナム国内で提供できるよう規制を一部緩和
3月下旬	自動車や木材、エタノールなど一部の品目について、最恵国待遇税率を引き下げ
4月4日	ラム書記長とトランプ米大統領が電話会談
4月5日	関税の発動延期を求めるよう書簡で要請
4月	副首相が関税交渉を目的として訪米予定

(出所) 各種報道より大和アセット作成

ベトナム株式市場（VN指数）の推移



(出所) ブルームバーグ

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。